

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2019年 8月 21日

(提出先)  
横浜市長

住所 東京都千代田区大手町1丁目1番2号

氏名 J X T G エネルギー株式会社  
代表取締役社長 大田 勝幸

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	J X T G エネルギー株式会社 代表取締役社長 大田 勝幸
主たる事業所の所在地	東京都千代田区大手町1丁目1番2号
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	(小売) 特別高圧・高圧：北海道、東北、東京、中部、北陸、関西エリアで事業を実施しています。 低圧：東京、中部、関西エリアで事業を実施しています。 (発電) 弊社製油所の自家発電設備を活用しているほか、共同発電事業者である川崎天然ガス発電(株)への出資及び電力調達を実施しております。
担当部署 連絡先	事業所名 大手町本社
	部署名 電気事業部電気業務グループ
	電話番号 03-6257-5655
	E-mail

### 2 対象年度

提出年度 (当年度)	2019年度
---------------	--------

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<p>■発電事業等に係わる取組み方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社JERAとの共同出資による高効率LNG火力発電所の建設</li> <li>・再生可能エネルギー発電所(バイオマスを含む)からの電力調達</li> <li>例：川崎バイオマス発電所、柿の沢水力発電所、下田温泉バイナリー発電所、独立行政法人水資源機構阿木川ダム発電所、室蘭バイオマス発電所(2020年度運開予定)</li> </ul> <p>■その他の温暖化対策に係わる取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・J X T G グループ行動指針の一つとして「環境保全」を掲げ、グループ環境方針を定めています。</li> <li>・全ての需要家に対してインターネット上で日々の使用電力量を確認できるサービスを提供し、省エネ意識の喚起に努めています。</li> </ul>
---

#### 4 推進体制

■発電事業等に係る推進体制  
電気事業部が中心となり、技術計画部および環境安全部と共同で電気事業用の電源の計画、発電設備の建設および運転の効率化、CO<sub>2</sub>排出量の把握、再生可能エネルギーの導入など、地球温暖化対策を行うための施策を企画、実施しています。

■その他の温暖化対策に係る推進体制  
弊社では中期環境経営計画を作成し、環境担当役員の承認をもって全社に展開しております。

#### 5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
公表方法		

#### 6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
公表方法	Webページにて公開： <a href="https://www.noe.jxtg-group.co.jp/denki/introduction/graph.html">https://www.noe.jxtg-group.co.jp/denki/introduction/graph.html</a>	

#### 7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

・需要家に対してCO<sub>2</sub>排出係数を開示するなど地球温暖化対策推進のための情報提供を行っています。

・希望する需要家に対してはインターネットを通じ、現在の消費電力を把握できるシステムの提供をおこなっています。「電力の見える化」によって、需要家の省エネルギー、消費電力平準化等へ貢献しております。

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input checked="" type="radio"/> 対応可	<input type="radio"/> 対応不可	<input type="radio"/> 一部対応可
	備考			

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	年度	2019年度	2030年度
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]
基礎排出係数			0.503	2019年度以下
把握率 (%)			—	—
調整後排出係数			0.494	2019年度以下
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数 に対する前年度の 排出係数の増減理由				
排出係数の抑制措置 のための取組	高効率LNG火力発電所からの電力調達 ・川崎天然ガス発電所から電力を調達  再生可能エネルギーの積極的活用 ・既存の再生可能エネルギー調達を今後も継続的に実施			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	年度	2019年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量			2,793,424
市内			163,058

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—		—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)				
太陽光				
風力				
水力				
その他 ( )				
再生可能エネルギー (FIT電気)				
太陽光				
風力				
水力				
その他 ( )				
未利用エネルギー				

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		年度	
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]		実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	
削減相当量				

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

<p>再生可能エネルギーの積極的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川崎バイオマス発電所、柿の沢水力発電所、下田温泉バイナリー発電所、阿木川ダム発電所からの電力調達を今後も継続</li> <li>全国でメガソーラー発電事業を展開し、18か所約46MWの売電を行っている。(2018年度実績)</li> <li>秋田県および神奈川県で風力発電事業を展開し、2か所3MWの売電を行っている。(2018年度実績)</li> <li>2020年度より室蘭バイオマス発電所からの調達を予定</li> <li>その他公営水力等の入札案件に参加予定</li> </ul> <p>未利用エネルギーの積極的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社グループ製油所の精製装置から発生した副生ガスを利用した発電設備より電力を調達している。また、排熱等の未利用エネルギーは回収され蒸気として有効活用している</li> </ul>
---

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤモンドリスポンズ等を活用した省エネを実施すべく、自社施設を活用し、VPPの実証試験に参加。</li> </ul>
--